

おお



議会だより

おお  
くわ

第169号

令和4年  
7月28日発行

## 6月定例会

こんなことが決まりました… 2

行政報告 …………… 3

村政を問う

4名が一般質問…………… 5

がんばる村内企業<sup>12</sup>

(株)管建工業…………… 10



阿寺溪谷の熊ヶ淵  
撮影者：振田 仁さん (大桑村殿和村)

6月定例会は、6月16日から24日までの9日間の会期で開かれ、諸報告、一般質問(4名5件)が行われた。

村長提出議案は専決処分5件、条例改正2件、補正予算2件、指定管理者の指定1件、過疎計画の変更1件などが上程され、慎重審議し原案可決した。

## こんなことが決まりました 小中学校の7月以降給食費、今年度に限り無償

### 報告

- 大桑村税条例の一部を改正する条例  
地方税法の一部を改正する法律等の改正に伴い大桑村税条例の一部を改正する条例についてを専決処分
- 大桑村国民健康保険税条例の一部を改正する条例  
地方税法施行令の一部を改正する政令の改正に伴い大桑村国民健康保険税条例の一部を改正する条例についてを専決処分
- 令和3年度大桑村一般会計予算繰越明許繰越計算書について
- 令和3年度大桑村村営水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書について
- 令和3年度大桑村農業集落排水事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書について

繰越明許費の額の決定

### 議案

- 大桑村フルタイム会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例について
- 大桑村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について  
大桑村職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部改正に伴い生じた条番号の修正
- 大桑村過疎地域持続的発展計画の変更について  
大桑村過疎地域持続的発展計画の一部を変更

### 指定管理者の指定

施設名	団体の名称	代表取締役	期間
木材工芸品等加工販売施設	(株)信州新緑	小垣外秀明	令和4年7月1日から 令和6年3月31日まで

### 補正予算審議

#### ◆令和4年度大桑村一般会計補正予算

主な内容は、住民税非課税世帯等臨時特別給付金の増額、新型コロナウイルス感染症4回目接種経費の計上、プレミアム商品券発行経費の増額、小中学校給食費保護者負担分補助経費の増額等。

総額4億3309万3千円

- 住民税非課税世帯等臨時特別給付金の対象世帯数は。  
A 60件を計上し、電算システム改修後確定する。
- ワクチン接種4回目の対象者は。  
A 4回目接種の対象者は60歳以上と18歳以上の基礎疾患を有する人が対象。
- 阿寺溪谷管理経費のトイレ改修の内容は。  
A 阿寺溪谷キャンプ場の男子トイレを和式から洋式の汲み取り方式への改修。

- 阿寺溪谷キャンプ場の男子トイレを和式から洋式の汲み取り方式への改修。
- 水洗化についての計画は。  
A 電気がない。水道がないことで水洗化は難しい。
- 文化財保護一般経費の池口寺薬師堂工事費内訳と工事内容は。  
A 総事業費2708万8千円。県補助1354万4千円。村補助672万2千円。
- 県の文化財であるので県の事業となる。ジャッキアップをして徐々に戻していく。
- 燃料油購入助成券を5千円にした理由は。  
A 前年度は1世帯1万円であった。検討した結果1人5千円とした。
- 子育て世帯生活支援特別給付金の支払時期は。  
A 準備ができ次第支給する。

(千円)

## 令和3年度 各会計別年度末決算状況

会計別	歳入総額	歳出総額	差引残高	繰越明許費等	再差引残高	基金積立	翌年度繰越金
一般会計	5,912,763	5,712,604	200,159	83,436	116,723	58,370	58,353
村営水道事業特別会計	202,313	201,078	1,235	61	1,174	590	584
国民健康保険事業特別会計	402,004	398,715	3,289	0	3,289	1,650	1,639
農業集落排水事業特別会計	105,045	104,303	742	171	571	290	281
公共下水道事業特別会計	74,230	73,201	1,029	0	1,029	520	509
後期高齢者医療事業特別会計	64,224	64,177	46	0	46	0	46

### 新庁舎竣工

令和2年9月末に着工した庁舎建設工事は、令和4年3月17日に建物本体の竣工検査を行うことができました。

その後、什器の搬入、業務用パソコンの設置、防災無線等の移設工事など開庁に向けて準備を整え、4月21日、県会議員、国県の出先機関、郡内町村長、北名古屋市長、地域の代表者、地権者、絵画制作者の藤岡牧夫さんなどの皆さんのご参列をいただき竣工式を行いました。4月23日、24日には内覧会を行い、住民の皆さん700人が集まりました。

引越作業は5月の連休に職員と委託業者で行いました。5月2日には地域とともに歩んできた旧庁舎の閉庁式を行い62年間の幕を閉

じました。

連休明けの5月6日8時、議長とともにテープカットを行い新庁舎の開庁式を行いました。

基金積立から12年余りでの完成。今後は議会、住民とともに防災の拠点、文化の拠点として十分役割を果たせるよう努力し、建物に恥じないように努めてまいります。

### 新型コロナウイルスワクチン接種4回目接種

新型コロナウイルス感染症は、昨年の夏以降新規感染者は減少し、終息したかのように見えました。年が変わり変異株であるオミクロン株による第6波が押し寄せ、県内でも新規感染者数が高止まりで推移する状況が続いております。

3回目接種はオミクロン株が感染拡大する中で実施しました。65歳以上が対象者1354人に対し1313人が接種。18歳以上65歳未満が1287人の対象者に対し1102人が接種。12歳以上18歳未満は148人の対象者に対し119人が接種しました。5歳以上12歳未満の1回目2回目接種は、139人の対象者に対し53人が受けております。

### 郡町村会、広域連合役員人事

王滝村瀬戸村長が2月に退任し、越原村長が就任したため、郡町村会と木曾広域連合の体制が一部変更となりました。郡町村会には瀬戸村長が会長を務めておりましたが副会長であった大桑村貴舟村長に、木祖村唐澤村長が副会長に就任しました。

木曾広域連合の体制では代表副連合長に木祖村唐澤村長が就任しました。

### しあわせ信州移動知事室

しあわせ信州移動知事室が5月19日、20日の両日木曾郡内で行われました。19日は里山整備関係者や地域材利活用を推進する関係者、地域医療関係者な

り変異株であるオミクロン株による第6波が押し寄せ、県内でも新規感染者数が高止まりで推移する状況が続いております。

### 直轄砂防事業

国が事業が決まりました。下在砂防堰堤工群事業は3年度補正で1億4千万円、4年度当初予算で2億5200万円。猿沢第1砂防堰堤には1億4000万円、太田第1砂防堰堤、矢垂沢砂防堰堤はそれぞれ3200万円の調査費が事業化されました。

も古根先生にお世話になります。

国は今後の再拡大を念頭に置きつつ、3回目ワクチン効果の有効持続時期や重症化予防、発症予防を目的として4回目ワクチン接種を決定しました。

対象者は60歳以上と18歳以上の基礎疾患がある人が対象となります。接種場所は新庁舎ホールを使用し、今回

### 直轄砂防事業

版木曾地域戦略会議が開催され、次期5カ年総合計画、木曾地域において木曾地域の「目指す姿」「取り組む政策」について知事と意見交換しました。

また、19日には拡大版木曾地域戦略会議が開催され、次期5カ年総合計画、木曾地域において木曾地域の「目指す姿」「取り組む政策」について知事と意見交換しました。

国が事業が決まりました。下在砂防堰堤工群事業は3年度補正で1億4千万円、4年度当初予算で2億5200万円。猿沢第1砂防堰堤には1億4000万円、太田第1砂防堰堤、矢垂沢砂防堰堤はそれぞれ3200万円の調査費が事業化されました。

どと意見交換をいたしました。20日には御嶽山の火山災害とビクターセンター、上松技術専門校の修了生、妻籠地区の観光事業者と意見交換を行いました。

## 要望書

●村道本町庭の畑線庭の畑橋に関する要望

要望者

令和3年度旭町区長

矢島 忠雄

令和4年度旭町区長

坂本 雄一

●大桑村木造住宅新築補助金等に関する要望

要望者

大桑村木造住宅推進協議会会長

下起 学

両件については、経済建設常任委員会に付託をして審議していくこととなった。

## 委員会報告

●議会改革特別委員会

◎5月23日開催

▼調査の結果と概要

●通年議会について

資料による説明を受け、各委員から意見を聞き協議した。

●休日・夜間議会について

当村で平成13年6月

開催した夜間議会の様子や県内、郡内の状況を勉強し、今後の在り方について協議した。

▼所感

●通年議会

闊達な議会運営や、

なり手不足解消につながるか、サラリーマン

議員にとっては日程調整が厳しくなるのではないかと、現状ではメリットを感じられない。

今後の社会状況を注視しながら、更に調査し検討することとした。

●休日・夜間議会

過去開催した状況では、傍聴者の増加とはならなかったこと、休日

や夜間開催は女性議員や年配議員、

職員の負担増の懸念もある。議員の

なり手不足の解消につながるのか、

身近に村政を感じる機会になるのか、

更に調査研究を重ねることとした。

●議員活動、議会報やCATVによる議会放送等を通して、身近な村政、開かれた議会運営に取り組んで参ります。コロナ禍により、集会を開く環境が未だに厳しい状況です。

皆様からの、ご意見ご要望等をお待ちしています。お気軽にお寄せ下さい。

◆解説

●通年議会とは

現在大桑村議会では定期的に年4回の議会を開催することが条例で定められています。これを「定例会」といい、3月、6月、9月、12月に開催しています。また臨時的に議案審議が必要な場合は「臨時会」を開催しています。「定例会も」「臨時会」も村長が招集します。それぞれの議会では「会期」が設けられ、その期間議会活動が行われます。

通年議会はこの「会期」を「条例で定めた日から翌年のその日の前日」とするパターンと「定例会を条例で年1回と定める」やり方（木祖村、木曾町等）の2つのパターンがあります。招集は初会のみ長が招集し、会期中は議長が招集します。

▼メリット

長の専決処分等の減少、突発的な案件に対応できる、議案の提出を行える時期の制限撤廃等。

▼デメリット

執行部の拘束、本会議や委員会の増加、予定のない会議が開催される。突発的な案件に対し執行部が議会対応に時間をとられる等。

# 一般質問

## 議員4名が村政を問う

6月定例会の一般質問は16日に4名5件を行いました。次ページより、質問議員が要約したものを掲載します。

### 一般質問とは

一般質問は、村が行うすべての事務や事業に関して何でも質問できる大事な議員活動の場です。年4回の定例会のみで、臨時会ではできません。

#### ●質問時間は30分

大桑村議会では、議員が質問できる時間は答弁を含め1人40分ですが、コロナウイルス対策として議場の換気等を行うため1人30分としました。

#### ●一問一答方式

質問は、一つ質問をして一つの回答を得る一問一答方式です。

この方法は、より問題を深められる方法といわれています。

#### ●事前通告

質問したい議員には、前もって質問内容を記した事前通告書の提出を義務付けています。



木戸 勸一 議員

# 少子化における山村留学は 今後、研究、勉強しながら考える

**Q** 少子化問題に対し、県知事と木曾地方6町村長が意見を交わされたが、内容は、  
**A** 解決策が見えない。厳しい郡内状況の中、知事に対し木曾病院の産科医師の派遣や交通問題、高校生の地元企業への就職など意見交換した。



大桑中学校男子バスケットボール部

**Q** 生徒減少に対し大桑中学校で学校教育、PTA活動への影響は。  
**A** 学校教育の影響は無いが、生徒会の編成、また、PTA組織の見直しをしてきた。資源物回収などは小中合同で行っている。  
**Q** 中学生の減少でチームプレイとして体

**Q** 空き家利用での親子留学は県内29人利用が有り、地区内の参加やPTAに貢献している。今後の検討は。  
**A** 空き家対策の中で対応できればと考える。  
**Q** 先月、県内の高校再編が報道されたが、木曾郡内の協議会も開

育、部活動に支障が出ているが、現状は。  
**A** 部活動では部の数を減らしたり合同部活、委任部活を行っている。社会体育でも参加できる体制をとっている。  
**Q** 少子化対策として県内13市町村が行う山村留学であるが、今後、生徒減少においての課題策は。  
**A** 山村留学の定義は自然豊かな農山漁村に集団生活する教育活動である。受け入れる体制整備が必要であり、村では考えていないが、今後は研究、勉強していきたい。



蘇南高校

かれていく。郡内高校の方向は。  
**A** 木曾地域の将来像として新たな高校再編整備計画の木曾の提案書を作成し、平成31年より2年間協議し意見提案を県に提出している。

# 畜産農家の立ち位置は

## 重要な産業を支える担い手と認識する



清水 芳昭 議員



牛市の様子

**Q** 冒頭、畜産農家の常識「安福久」の認識を尋ねたところ、否であったので、安福久が市場でいかに高値形成に貢献した重要な種牛であったか、血統が記載された名簿にもとづいてセリが行われ、価格が決定されることを通じて説明した。

**Q** 畜産農家は畦畔・原野の草、又は遊休農地に作付けした牧草を飼育する牛に食さ

**A** せ、その排泄物を堆肥として田畑に戻す。結果的に化学肥料を抑制し、究極の環境工コを実践。今でいうSDGsである。昨年は109頭5400万円余りの出荷額があったとのこと。残念ながら畜産農家は漸減しているが、産業の少ない当村では畜産は大事な産業と思われる。村として畜産農家をどう認識しているのか伺う。

され、今後とも、村として、支えていかなければならないと考えている。

**Q** 畜産農家への助成制度と実績について伺う。

**A** 令和元年度から始めた畜舎改修助成は昨年まで6件。他にも2種の助成制度はあるが過去5年以内に実績なし。袖山牧場の管理組合に43万円余りを支出している。

**Q** 大桑村と南木曾町の畜産農家で組織し、畜産技術の習得、研鑽、親睦を目的とする南部和牛部会があることを知っているか伺う。

**A** 承知している。毎年総会には出席している。

**Q** その南部和牛部会から村への要望書が年明け早々に届いていると思う。その要旨は郡下でも一番戸数の多い大桑村の畜産農家のた



補助金で改修した牛舎の扉

めに①繁殖雌牛・機械導入の国の補助金を受けられるよう大桑村ワラスター協議会を立ち

上げて欲しい②繁殖雌牛の更新を加速するため、優良繁殖雌牛導入、優良自家保留牛に対する助成③南部和牛部会の活動に対する助成④その他、木曾郡内の町村と同等の助成、以上4つの要望にどのよう

に添えられるよう制度の見直しを検討したい。

**A** 村への要望書の提出は承知している。村として、各種制度と使用実績がマッチしていない部分があるため、要望に添えられるよう制度の見直しを検討したい。

**村長** 質問の趣旨も、畜産に携わる者としてよく理解できる。当村において畜産業は大切な産業として理解している。過去において支援のために、村有牛・基金等も用意したが、うまくいかなかった経過もある。現在ある畜産農家への助成制度も、見直しの必要性を感じている。関係する方々と情報を共有しながら使いやすい制度にしていきたい。



鈴木 武 議員

# 道路インフラ整備に対する 考え方は

## 建設環境が整えば前向きに 検討したい



野尻本町村有地

**Q** 村有地（須原本町・野尻本町・旭町）の中には、町中づくりに必要な役割を担う場所もある。利活用に向け、近隣住民等と話し場を設ける考えはないか。

**A** 野尻本町の村有地は、利用相談があったが、立ち消えとなった。

利用方法について、要望があれば考えていきたい。庁内でも、検討はしている。

**Q** 野尻大曲地区の宅地造成地4区画は、4年経過したが動きが見られない。1坪3万6300円の価格設定を見直す必要があるのではないか。今後も、定

住化対策の一事業として、宅地造成事業は、推進していくのか。

**A** 大曲地区の造成地は、上下水道の繋ぎ込み設備を有しているため、現状価格を維持したい。売却を最優先とし、新たな宅地造成事業は考えていない。

**Q** 生活道路として重要な村道が、アスファルトの劣化や周辺の草木の繁殖により、通行に支障が生じている。応急処置的な簡易舗装では、短期間で元の状態となっている。また、周辺草木の除去作業も住民の高齢化等により、困難になっている。道路点検や補修等、道路のインフラ整備をどのように考えているか。

**A** 村道は、165路線、総延長109.9キロあるため、住民生活に直結した道路やバス路線を優先し調査、検討する必要がある。



職員による道路維持作業

職員によるパトロールや住民からの通報を受け、現場を確認のうえ、業者に発注するか判断し、補修をしている。村道の草刈り等は、年500万円程の事業費で外部委託し、年2回程度必要箇所において実施している。地域の事情も承知しているの

で、相談頂ければ出来る限りの対応をしていきたい。道路インフラは、重要と認識している。地域の方、地権者の方の理解を得ることが出来ず、事業化に至らなかったこともある。建設環境をつくって頂ければ、行政も前向きに検討していきたい。



瓜尾美佐子 議員

# 物価高騰から暮らし・営業を守る支援は

## 燃料油・学校給食費への助成で支援

### 物価高騰対策は

**Q** 燃料油から食料品、建設資材など物価の高騰が暮らしや営業に深刻な影響を与えている。住民生活や事業所への影響をどう見ているか。

**A** 住民生活は物価の高騰で収入が上がらなければ生活が苦しい。飲食・宿泊・サービス業は原材料高騰の影響で厳しい。自動車関連は昨年7月にコロナ以前に戻ったが、最近の半導体不足により減収に。建設業の事業量は回復したが、資材不足や建設費の値上がりで厳しい状況。

は昨年7月にコロナ以前に戻ったが、最近の半導体不足により減収に。建設業の事業量は回復したが、資材不足や建設費の値上がりで厳しい状況。



高騰するガソリン

**Q** 物価は上がっているのに年金は減らされる高齢者の生活に影響。

**A** 今回の補正予算に新たに計上したものは、国の緊急対策による臨時交付金を活用した新たな村の支援策は。

子育て世代は食料品などの値上がりで家計のやりくりは大変に。原材料高騰で製造・建設業にも打撃になっている。

村民1人50000円の燃料油購入助成券の配付事業である。

教育関係では、小中学校の保護者の経済負担軽減のために7月から2月までの給食費を全額助成する。

**Q** 今回、国の交付金を活用し給食費を期限付きではあるが無償化とした。来年度以降は国の交付金は不明だが、村として無償化を継続していけるか。

**A** 国の交付金を活用し、時限的な無償化した。村独自で今後、継続するには他の施策を削って回していかなければならぬため、考えていない。ただし、牛乳代の助成は継続していきたい。

**意見** 学校給食は義務教育の一環であり、本来、国が無償化を行うべきである。声を上げていくことが求められる。

### 村の農業の位置付け

**Q** 農水省は5年以内に水張りをしない水田を交付金の対象から外そうとしている。村の対象者はどれくらいか。水張りは可能なのか。

**A** 令和3年度実績で20戸の農家が対象。村に479万円の交付金が入っている。今回の見直しで4年度から8年度までに水張りをしない9年度以降補助対象にならない厳しい見通しがある。

き上げに逆行するものであり、国に対して政策転換を求めるべきだ。

**Q** 第6次総合計画策定の年である。現状では、担い手の高齢化や後継者不足などでこのまま維持していくのが困難。どのように計画に位置づけていくか。

**A** 畜産・米・野菜など村内で循環できる農業を目指していく。

**意見** 今回の交付金カットは、離農者と耕作放棄地を増やし、自給率引



転作農地

承認2件、報告1件、条例一部改正3件、広域計画変更1件、補正予算案3件が上程され、審議の結果、原案通り可決承認された。

●承認2件

令和3年度一般会計補正予算

国庫補助金確定による財源振替のため、予算総額の増減無し。

令和3年度介護保険特別会計補正予算

国庫支出金に関するため予備費を充当し、令和4年度で調整。

●報告1件

木曾寮建設事業3342万9千円・文化ホール設備整備事業1億4123万4千円の2事業を令和4年度へ繰越明許費としたもの。

●条例整備及び一部改正4件

令和3年人事院勧告に基づき、一般職の期末手当支給月数を前年対比年間0・15月分、再任用職員は0・1月分引き下げるもの。

令和3年人事院勧告に基づき特別職の期末手当支給月数を前年対比年間0・1月分引き下げるもの。現在副管理者は、不在。

介護保険条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入の減少が見込まれる場合等に於ける第1号被保険者の減免対象期間を令和5年3月31日まで延長するもの。

木曾広域連合広域計画の変更

規約の変更に伴い、成年後見制度の中核機関に関すること、及び障害者総合支援法に期待する協議会の設置に関するこの2項目を追加するもの。

●補正予算案3件

一般会計補正予算（第1号）570万2千円を追加し、総額37億8530万8千円とするもの。

歳入関係の主たるものは、分担金及び負担金901万円余の増、繰入金280万円余の減、諸収入113万円余の減である。

歳出関係の主たるものは、人事異動に伴う人件費623万2千円減、総務費関係では、派遣職員負担金820万円増、民生費では、再任用職員1名の採用に伴い派遣職員負担金840万円減、木曾クリーンセンターで使用する薬品単価

高騰による消耗品費211万2千円増、衣類リサイクル事業に係る委託料174万3千円増、ストックヤード事業の清掃費158万2千円増である。

介護保険特別会計補正予算（第1号）452万7千円を減額し、総額4億4789万7千円とするもの。

下水道事業会計補正予算（第1号）

人事異動に伴い、30万円を減額し補正後の既決予定額を収入支出とも、1億1642万7千円とするもの。

第6次木曾広域連合広域計画の策定について

木曾地域振興構想の理念を計画に反映させるため、20名以内による策定委員会を設置し、令和4年度中に策定するもの。

木曾地域の治水対策について

木曾地域の治水対策事業の整備促進により、地域住民の安全安心な暮らしを守り木曾地域の発展のため、協議会を設置することになった。

（報告者 鈴木 武）

議会活動日誌

3 月

- 2日 3月定例会
- 3日 3月定例会
- 7日 議会運営委員会
- 14日 3月定例会  
議会報編集特別委員会
- 15日 3月定例会
- 16日 大桑村社会福祉協議会理事会
- 23日 阿寺溪谷管理運営協議会
- 30日 大桑村社会福祉協議会評議員会

4 月

- 3日 大桑村消防団演習
- 8日 議会報編集特別委員会
- 15日 議会報編集特別委員会
- 21日 大桑村役場新庁舎しゅん工式

- 25日 阿寺溪谷安全祈願祭  
木曾南部土砂防災NW議員連盟 中部地整局長懇談会
- 27日 木曾郡町村議会議長会議

5 月

- 2日 大桑村役場旧庁舎閉庁式
- 6日 大桑村役場新庁舎開庁式
- 10日 庭の畑橋説明会
- 12日 木曾観光連盟役員会  
木曾郡町村会・議会議長会歓迎迎会
- 15日 木曾郡少年相撲大桑大会
- 16日 木曾広域 議会運営委員会  
木曾広域 総務常任委員会  
木曾郡町村議会郡議長会
- 17日 木曾広域 経済観光常任委員会  
木曾広域 福祉環境常任委員会  
大桑村商工会総会

- 23日 議会改革特別委員会
- 25日 木曾広域 第2回定例会
- 30日 全国議長会議長・副議長研修会  
~31日 修会

6 月

- 3日 議会運営委員会  
木曾地域交通網対策協議会総会  
木曾観光連盟総会  
木曾観光宣伝協議会総会
- 4日 大桑村ポンプ操法大会
- 10日 木曾郡防犯協会理事会・総会
- 12日 大桑村社協 住民福祉大会
- 13日 大桑村社協理事会
- 14日 大桑村建設協力会行政懇談会
- 16日 6月定例会
- 17日 6月定例会  
議会報編集特別委員会

\* 4月27日の木曾郡町村議会議長会議で木曾郡町村議会議長会会長に岩佐大桑村議会議長が選任されました。

## がんばる 村内企業 12

### (株) 管建工業

～地域の皆様に気軽に声をかけて  
いただける企業を目指して～

平成7年に水道工事業として開業し今年で28年になります。

当時は郡内各地で下水道工事が始まる時期でありました。弊社でも村発注工事や村内の皆様、企業からの下水道工事、それに伴う各工事を承っていましたが、上下水道もほとんど完備され、現在は村内・近隣町村の皆様、企業から、管工事・建築工事・土木工事等をいただいております。

管工事以外は経験、知識が乏しく発注者・関係者の方々に一から教えていただき毎日勉強です。

①まずは健康②社内では遠慮は無用③日々勉強④課題はチャンス これをモットーにし



て取り組んでいます。

例年ですとこの時期エアコン取付工事等暑さ対策工事が集中しますが、コロナ禍の影響で製品が入りにくく、資材等の値上がりで大変厳しい経営を余儀なくされています。

長年村内の皆様にお世話になっておりますので、取り扱い製品の情報収集をおこない少しでも皆様のお役にたてればと、会社一丸となってまいりたいと思います。

村民の皆様、地域の皆様に気軽に声をかけていただけるような企業を目指しています。

これからもよろしくお願ひします。

(株)管建工業 代表取締役 平島 徹さん

## 村への思い 21

### 大桑村の観光に力を

あてら荘支配人 梅崎 優輝さん

2021年4月から、あてら荘に支配人として赴任してきました。佐賀県という遠く離れた地から来て、右も左もわからない私に対し、大桑村の方々は本当によくしてくださり、私はすぐに大桑村が好きになりました。

赴任した当初は新型コロナウイルスの影響で思うようにいかない、歯がゆい日々を過ごしてきました。ですが、コロナ禍になり2年が過ぎ、皆さんの生活様式が大きく変わりました。withコロナの考えへと変わるにつれて、観光や旅行に対する忌避感も無くなり、少しずつ新型コロナウイルスが蔓延する前まで回復しつつあります。

もっと多くの人に大桑村の素晴らしさを知って貰いたい。そんな思いを胸に、これからは好きになったこの村に観光という面で貢献していきます。



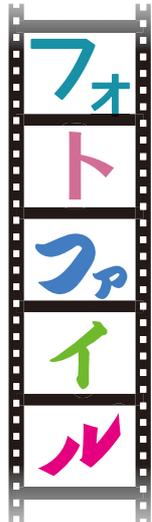
### 表紙撮影

振田 仁さん

(大桑村殿和村)

### ▼阿寺溪谷の熊ヶ淵

6月4日、この日は自宅から自転車で阿寺溪谷の牛ヶ淵まで出かけました。狸ヶ淵、犬帰りの淵、牛ヶ淵の写真は割とありますが、熊ヶ淵の写真は割と少ないかと思ひ撮影しました。  
夕方光が川底まで差し込んで、とてもきれいな阿寺ブルーが見えました。



### 編集後記

▼今年には異常に早い梅雨明けでした。  
真夏日や局所的な大雨が続く中、日々この様に過ごせる事に改めて、平年並みの言葉の重みを感じます。

委員長 細田光一

議会報編集特別委員会  
委員長 細田 光一  
副委員長 沼田 友行  
委員 清水 芳昭  
委員 坂家 重吉  
委員 勝野 清子